

総合取得改革推進委員会

議 事 要 旨

1 日時等

(1) 日 時：平成26年6月19日(木) 14時00分～14時30分

(2) 場 所：防衛省A棟11階第1省議室

(3) 出席者：防衛大臣、防衛副大臣、若宮防衛大臣政務官、事務次官、大臣官房長、防衛政策局長、運用企画局長、人事教育局長、経理装備局長、地方協力局長、技術監、吉田大臣官房審議官、統合幕僚副長(統合幕僚長代理)、陸上幕僚長、海上幕僚長、航空幕僚長、技術研究本部長、装備施設本部長(説明者) 吉田大臣官房審議官、装備施設本部長

2 議 題

「防衛生産・技術基盤戦略」(以後、「戦略」)について

3 議事概要

(1) 防衛副大臣冒頭のご発言(要旨)

私がチーム長を務めている総合取得改革推進プロジェクト・チームにおいて、今後の防衛生産・技術基盤の維持・強化の方向性を新たに示す、「戦略」の案についてとりまとめを行ったことから、本日その戦略案を報告させて頂く。

(2) 防衛大臣のご発言(要旨)

国際競争力のある、防衛生産・技術基盤を構築するために、本委員会で「戦略」を決定し、防衛産業を含めた日本の安全保障の更なる充実に努めてまいりたい。

(3) 吉田大臣官房審議官から、防衛産業を取り巻く現状、戦略の考え方、防衛装備品の将来ビジョンの検討状況、防衛生産・技術基盤の維持・強化に関連する施策について説明。

また、装備施設本部長から、装備施設本部の現在取り組んでいる施策について紹介。爾後、討議。

(4) 討議においては、戦略決定に際し、

- ・防衛生産・技術基盤の維持・強化を明確に打ち出したことを評価。
- ・将来にわたっての研究開発ビジョンを示し、開発を進めていくことが大切。
- ・他省庁と連携の上、本戦略を実際に具体化することが重要。
- ・大学や研究機関との連携を早期に開始すべき。

との意見があった。

(5) 防衛大臣締めくくりのご発言(要旨)

1970年の中曽根防衛庁長官以来の44年ぶりの戦略策定である。「戦略」の実現に関しては、防衛省だけではなく、関係府省の協力が必要であり、今後も関係府省で連携しながら政策を進めて頂きたい。武田副大臣を中心とした関係者の尽力に感謝する。

(以上)